

三期生合格・内定体験記～後輩たちへのメッセージ～

◇ 佐賀大学 理工学部 理工学科

文理科(末吉中出身)

私が、受験生を自覚して、受験勉強を始めたのは3年の夏休みからでした。私は部活に入っていなかったので、放課後の時間は多くありました。しかし、3年の夏休みまでの勉強時間は、宿題をする時間を含めて、平日は2時間程度、週末は3、4時間程度しかやっていませんでした。このままではいけないと思い、3年の夏休みからは、それまでやっていたゲームアプリを消し、他のゲーム機を封印して、平日は5時間程度、週末は10時間程度と、夏休み前より倍以上の時間を受験勉強に費やすようになりました。最初は、この生活リズムに慣れるのに時間がかかったり、現実逃避をしたくなったりしましたが、気合いで乗り切りました。しかし、受験勉強を本格的に始めた時期が遅く、センター試験まで6ヶ月という時期だったので、模試の成績は伸びませんでした。ただ模試の結果に悩みながらも、受験勉強を頑張り続けました。

本番のセンター試験では、自分が望む得点に達せず、志望大学の合格ラインに全く届きませんでした。この結果に失望し、今までの努力が無駄になると感じるとともに、**受験勉強に取りかかる遅さや真剣になる遅さを後悔しました。**そんな中、可能性のある大学をなんとか見つけることができました。その後は、二次試験に向けて、数学と物理の問題をひたすら解くことに集中し取り組みました。その結果、無事合格することができました。

「もっと早く受験勉強を始めていたら」と後悔はありますが、合格できた達成感を味わうことができ、今までの努力がなんとか報われ本当に良かったです。後輩には、1ヶ月でも早く、半年でも早く受験を意識した勉強を始めてほしいと思います。

◇ 西日本医療専門学校 視能訓練士学科

普通科(末吉中出身)

私は中学校の頃から、将来就きたい仕事を決めていました。しかし、高校入学後は慣れない学校生活や勉強と部活の両立に気を取られ、なかなか将来の進路について、じっくり考える機会がありませんでした。ふと気がつくと1年生が終わり、2年生も終わって、3年生になっていました。

3年生になってまず取りかかったのは面接ノートの作成でした。といっても、1学期は定期考査や高校最後のコンクールに向けて部活動がとても忙しく、本格的に始めたのは夏休みからでした。時間をかけて文章を書き、担任の先生に見てもらい、訂正したところ

を直すという作業を何度も繰り返しました。志望校で学びたいという気持ちを文章にすることがとても大変でした。**早い時期から面接ノートの作成を始めておけばよかったと思いました。**

次に取りかかったのは面接練習でした。いかに面接で自分をアピールできるかを考えながら、取り組みました。私のクラスではグループに分かれて集団面接や個人面接をしました。最初は面接に全然慣れず、声が小さかったりしましたが、少しずつ慣れていき、何回もやっているうちに自信ができました。放課後の面接練習は多くの先生方に見ていただきました。自分でよいと思っても、面接後の評価で、たくさんのダメ出しをもらい、次の面接練習には活かせるように努力しました。たくさん失敗しましたが、失敗を糧に本番に臨みました。本番ではとても緊張しましたが、自分では満足いくものになりました。

後輩の皆さん、夢に向かって頑張ってください。

◇ 宮崎キヤノン株式会社

機械電子科(末吉中出身)

私は、高校2年から就職すると決めていました。しかし、製造業に就きたいと考えているだけで、どの会社に就職したいかは全く決まっていなかった。そんな中、担任の先生からいくつか企業を紹介していただきました。就業時間、給料、制度、会社の雰囲気などを求人票やHPで見比べ、保護者にも相談しました。最終的に、一眼レフカメラやプリンターなどの製造組み立てを行っている宮崎キヤノンに絞りました。

試験内容は、個人面接・グループ討議・SPI でした。個人面接では、30分の対話形式で様々な質問をされました。しかし、学校で何十回とたくさんの先生方に面接練習をしてもらっていたので、想定外の質問をされてもスムーズに答えることができました。グループ討議においては、学校で3回ほどしか練習していませんでしたが、周りに気を配りながら、積極的に発言することができました。しかし、緊張もあって少し発言が少なかったかもしれません。SPI は、求人票には適性検査と書いてあったので全くノーマークでしたが、クラスで配布された SPI の問題集を日頃から真面目に取り組んでいたのが良かったです。

このように、どの試験に対しても繰り返しの練習が大切だと感じました。練習で力をつけたら、本番に対応できると思うので、早めに受験する企業を決め、試験に向けて対策を練るべきだと思います。後輩の皆さん、準備をしっかりして、第一志望の会社から内定をもらえるように頑張ってください。